

2025年度 第7号

(通算第33号)

今回の発行人 築瀬千詠

yanase@shohoku.ac.jp

湘北 SDGs

Think Globally, Act Locally.

学校法人ソニー学園 湘北短期大学

生活プロデュース学科・リベラルアーツセンター

〒243-8501 厚木市温水 428 TEL:046-247-3131 FAX:046-247-3667



湘北短期大学の SDGs について
ご紹介するニュースレターです

～発行者からのお知らせ～

23年度から、Web サイト湘北 SDGs を開設し、授業や大学全体の取り組みを紹介しています。

ニュースレターでは、Web サイトに掲載した記事の中から、学科の授業や部門ごとの活動を、カテゴリー別にまとめて紹介していきます。

今後とも湘北短期大学は地域に根ざした教育機関として「Think Globally, Act Locally」を合言葉に、社会課題の解決にむけて持続可能な未来の創り手を社会に送り出していきたいと思います。

つくろう。食べよう。

あの人に、あの子に、わたしに。愛を込めてにぎる「おにぎり」。その「誰かのため」の気持ちに、世界の子どもたちへの想いも込めて。あなたが「おにぎり」を食べると、アフリカ・アジアの子どもたちにも温かい給食が届く。

おにぎりアクション公式HP

2025.10.7TUE - 11.15SAT

TABLE FOR TWO

おにぎりアクション公式HP



NPO 法人 TABLE FOR TWO 公式HP



【大学の取り組み】「おにぎりアクション 2025」プロジェクトに参加 (2025年10月～11月)

本学では2024年に引き続き、「おにぎりアクション 2025」(認定NPO 法人 TABLE FOR TWO 主催、期間：2025年10月7日～11月15日)に参加しました。このプロジェクトは、おにぎりにまつわる写真にハッシュタグ「#OnigiriAction」を付けて SNS や特設サイトに投稿すると、1投稿につき給食5食分に相当する寄付(100円)が協賛企業から提供され、アフリカ・アジアの子どもたちに給食が届く、という取り組みです。

同法人の発表(12月2日公開)によると、2025年の「おにぎりアクション」では世界各地、そして日本全国から、233,321件の投稿が寄せられ、その結果、1,166,605食の給食が、子どもたちへ届けられることになったとのことです。

本学では、学内でのポスター掲示などを通じてプロジェクトへの参加を呼びかけたほか、キャンパスレストランでは、特別に「おにぎり」を販売し、ランチタイムを通じて学生たちが気軽に参加できるきっかけを作りました。また、図書館では、受付カウンターに「おにぎりアクション」に合わせた特設ディスプレイを展示し、来館した学生や教職員に対し、視覚的に活動の意義を伝える工夫をしました。プロジェクト期間中は、学生や教職員、サークル団体等が数多く参加し、おにぎりという身近な食事を通じて、楽しみながら社会貢献に参加する輪が広がりました。



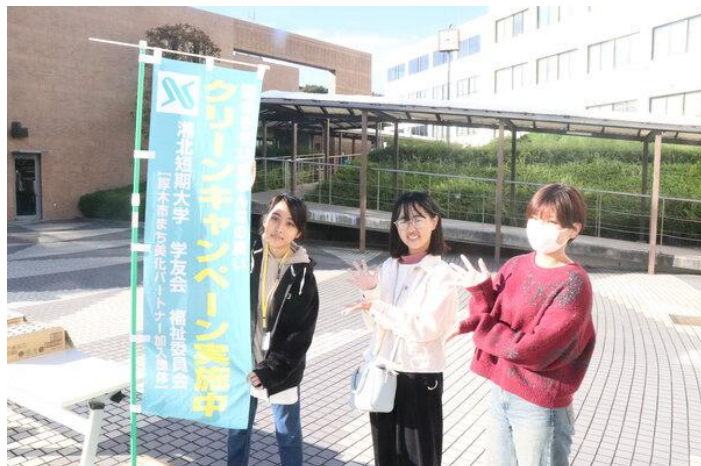
この活動は、SDGs(持続可能な開発目標)の「1.貧困をなくそう」「2.飢餓をゼロに」をはじめとする5つのゴール達成に貢献する

ものです。世界の子どもたちの未来に思いを馳せ、私たちができるアクションを起こすことは、SDGsについて改めて考える貴重な機会となりました。

引き続き、本学では持続可能な社会の実現を目指してSDGs達成に向けた活動に取り組んでまいります。

(総務部)

【学友会 福祉委員会の取り組み】 秋のクリーンキャンペーン実施（2025年11月4日）



本学では、毎年5月と11月の年2回、学友会福祉委員会主催の「クリーンキャンペーン」を実施しています。クリーンキャンペーンは、朝の通学の時間帯に、学生と教職員が小田急線本厚木駅前から大学までの通学路の清掃を行う地域貢献ボランティア活動のイベントです。1999年から開始したこの活動は、福祉委員会が「気軽に参加できる地域貢献ボランティア活動」として全学生に呼びかけ、当日の運営を行っています。

今回は2025年11月4日の活動をお知らせします。当日は、74名の学生と教職員が参加。トンゴとゴミ袋を使って通学路のゴミ拾いを行いました。

実施後の参加者アンケートには、「いい天気で気持ちよかった」「たばこの吸い殻が多かったのでちゃんと持って帰ってほしいと思いました」「普段ゴミ拾いをしないため、このような機会があるお陰で、地域貢献ができて良かったです」といった感想が寄せられました。

本学は2025年2月に厚木市制70周年記念式典で「未来につながる一步功労賞」を受賞しました。さらに2026年1月には、長年にわたる地域ボランティアの功績に対し、厚木市から再び表彰を受ける予定です。

厚木の地に創立され50年を経た本学。これからも地域との繋がりと大切にしながら、地元にも愛される大学として地道な取り組みを続けていきたいと思えます。



【学友会 福祉委員会の取り組み】 学生ボランティアとして毛利台小学校「三つ矢ふれあい祭り」に参加

（2025年11月15日）



11月15日、厚木市立毛利台小学校PTA主催の秋のイベント「三つ矢ふれあい祭り」に、学友会福祉委員会の学生9名がボランティアとして参加しました。当日は、PTAの皆さんが考えた様々な企画のうちの一つ「スカットボール」のお手伝いをしました。子どもたちは非常に楽しそうに参加しており、順番待ちに並ぶ列が絶えなかったそうです。

イベント終了後、「当日は子どもたちがパワフルで大変だったけど楽しかったです」「今年も参加でき、嬉しかったです。ありがとうございました」「来年も参加させていただけるようでしたら、もう少し人数を集めて、学生同士がより連携が取

れるよう努めたいと思いました」といった感想が寄せられました。

今後も、こうした貴重な機会を大切にしていきたいと思えます。

（学友会福祉委員会 顧問／教務・学生部 高橋博子（2件とも））